

登録医ニュース

メタセコイア

第42号
2017.9

編集・発行/東北医科薬科大学病院 医療連携センター

〒983-8512 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号 Tel(022)259-1221(代表)
Tel(022)388-9593(医療連携センター直通) Fax(0120)25-9121(医療連携センター直通)
Eメールrenkei@hosp.tohoku-mpu.ac.jp ホームページhttp://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp

副院長に就任して

東北医科薬科大学病院 看護局長兼副院長 ^{せと}瀬戸 ^{はつえ}初江

初秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。日頃より、登録医の先生方には患者様をご紹介いただき感謝申し上げます。

さて、当院は、昭和57年に社会保険宮城第一総合病院が高砂地区に移転し東北厚生年金病院として30年あまり地域の皆様に支えられながら歩んでまいりました。開設当時は、病院の周りは田んぼが広がり七北田川もすぐそばで素晴らしい環境の中でありました。ここ数年で様々な店舗や建物が立ち今では、生活圏として大変便利な地域になりました。

平成23年3月は各地域に甚大な被害をもたらした東日本大震災が起きました。当院も建物などに甚大な被害を受けましたが、皆さまの力をお借りし復興することが出来ました。

この震災を契機に病院の組織は大きく変革を迫られ、平成25年には「東北薬科大学病院」としてスタートいたしました。その後さらに平成27年には全国で37年ぶりに医学部設置構想が出され「東北医科薬科大学病院」として再スタートいたしました。東北地方の復興事業のために、「地域医療、災害医療」をコンセプトに医師の教育機関として、また、地域医療に貢献する大学病院として立ち上がりました。この時期に私は、看護局長兼副院長として拝命を受け現在仕事をしております。

このような変革の時期に貴重な体験をさせていただくことは勿論うれしいのですが、総合病院から大学病院への組織改革は、試行錯誤の毎日です。しかし、組織が、そして風景が、働いている人々が変わっていく中で、唯一変わらないのは私たちの「看護」という仕事です。

今後建物も新しくなり、多くの医師が着任し病院も専門的に、より高度なものになっていくことが予測されます。

しかしながら、患者さんが暮らしているのは地域であり、地域の先生方との連携なしには、これからの医療は成り立たないと思っています。これまで以上に登録医の先生方とは、連携を図っていき、患者さんが住み慣れた地域で生活できるように支援していきたいと思います。

これからも当院看護局の理念である「この病院にきて良かった」と思ってもらえるような心温まる看護をしていきたいと考えています。

今後とも、東北医科薬科大学病院にお気軽にご相談また御紹介いただきますようお願い申し上げます。

平成29年9月1日より セカンドオピニオンを全診療科にて開始いたします

医療機関で治療中の患者さんを対象に診断内容や治療方法に関して、患者さんご自身の治療に際し今後の治療の参考にしていただくことを目的として平成29年9月1日より全診療科にて対応いたします。

■ セカンドオピニオンは全診療科、予約制で行います。

■ 担当医師

専門性を考慮して当方で決定いたします。

■ 相談時間

おひとりにつき1時間です。

45分間にわたってご相談をお受けしたあと、15分間で主治医へ報告書を作成いたします。

■ 相談費用

セカンドオピニオン外来は自由診療で行われます。健康保険は使用できませんのでご注意ください。費用は1時間20,000円（税込み21,600円）です。

なお相談時間が1時間を超えますと30分ごとに10,000円（税込み10,800円）いただきます。お問い合わせやご予約には料金はかかりません。

■ 相談に際して必要なもの

1 セカンドオピニオン外来申込書

2 診療情報提供書

3 できる限りの検査資料

1) 血液検査の結果

2) 超音波検査の結果と画像

3) レントゲン検査、MRI検査、CT検査結果（CD-R可能）

4) 病理検査の報告書など

■ 申し込み方法

お電話にて、連携センター直通電話022-388-9593にご本人もしくはご家族からご連絡ください。

【受付時間：月曜日～金曜日（土・日・祝日・年末年始を除く）8時30分～16時】

消化器内科ご紹介

消化器内科科長 さとう けんいち 佐藤 賢一

消化器内科は東北厚生年金病院時代より開設されている歴史のある診療科です。今までも、近隣の先生方には多くの患者様をご紹介いただきまして、この場をかりまして感謝申し上げます。当科は本年4月より、新たな専門医が加わり大学病院の診療科として新体制となりましたので、ここでご紹介させていただきます。



以前より、食道、胃の内視鏡治療については米地が担当しており、昨年度の上部内視鏡検査総数は5347例、早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術施行数は141例と県内有数の数を誇っています。今後も引き続きよろしくお願い致します。胆膵疾患については、今まで担当している目黒に加え廣田が着任しました。胆膵領域の超音波内視鏡検査（EUS）も可能となり、超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診（EUS-FNA）による膵腫瘍の診断も始めております。専門医が増えたことから、総胆管結石の内視鏡治療、閉塞性黄疸に対するステント留置術にも今まで以上に積極的に取り組んでいます。肝疾患については、新しく小暮が担当することになりました。ウィルス性肝炎の治療に加え、肝腫瘍の内科的治療を得意としています。肝癌に対する肝動脈化学塞栓療法（TACE）、ラジオ波焼灼療法（RFA）なども常時行っています。また、RFAの適応範囲を転移性の肝腫瘍にも広げようとしております。当科のC型肝炎・肝癌診療の現状は差し込みのリーフレットをご参照ください。下部消化管も遠藤が担当することになり、今までにはなかなか継続して診療することが困難であったクローン病や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患を治療することが可能となりました。診断から治療の導入、維持療法、難治例全ての例に対応可能です。上記の3名は、全国的にもその分野の指導的立場にあるエキスパートですので、診断に迷う症例や治療が困難な例などを含め、患者様のご紹介をお待ちしております。

また、消化器内科では当科に紹介してくださる先生方と患者様の負担を減らすべく、新しいシステムの導入を開始しました。腹部超音波検査や上部内視鏡検査の電話予約システムです。先生方から直接検査の予約が可能となり、患者様の待ち時間が大幅に短縮されます。まだ、運用を開始したばかりで検査枠が限られていますが、徐々に枠を広げ、最終的には大腸検査にも適用したいと考えております。

このように、生まれ変わった消化器内科ですが、私たちの使命は地域医療に貢献すること、また貢献する医師を養成することにあります。従って、高度医療を提供するだけでなく腹部のあらゆる疾患を幅広く診療していく所存です。今後とも先生方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

東北医科薬科大学病院 消化器内科では、 地域の医療機関から検査の予約をお受けしております。

予約は医療機関の方のみお取りいただけます。患者さんからお電話をいただいても予約はお取りできませんのでご注意ください。

予約可能な検査項目

上部内視鏡検査
腹部超音波検査

検査日

月曜日、火曜日、木曜日

予約方法

紹介状に予約希望日と希望する検査項目を記載し連携センターまでFAXを送信して下さい。希望日の記載が無い場合は最短でお取りできる日で予約いたします。

検査当日の流れ

- 1 2番新患窓口で受付して下さい。
- 2 受付後検査を行います。
- 3 検査終了後、消化器科外来にて医師の診察があります。
- 4 診察後、治療が必要な方は次回予約を取りますが、異常が無い方は終了となり帰宅となります。ご紹介いただいた先生方へはお返事をご郵送いたします。

申込先

連携センター 電話 022-388-9593 (直通) FAX 0120-25-9121 (直通)



下段左から 目黒医師、佐藤教授、廣田医師
中央左から 米地医師、遠藤医師、小暮医師
上段 左から 近藤医師、支倉医師、佐藤倫紀医師、福士医師、佐藤格医師

インターフェロンフリー時代のC型肝炎治療について

本邦におけるC型肝炎ウイルス感染者は150万～200万人程度と推測されています。感染に気付いていない患者・感染を知っていても肝臓専門医の診断・治療を受けていない患者が多数存在し、多くは無症状で経過して肝硬変・肝がんを発症するため（図1）、HCV感染者の拾い上げと治療への誘導が急務です。

2014年にインターフェロンを含まない経口薬のみのC型肝炎治療（直接作用型抗ウイルス薬 DAA）が本邦に導入されて以来、C型肝炎治療は劇的に変わり、その高いウイルス排除効果・少ない副作用の恩恵を多くの患者が受けています（図2）。DAA治療は、インターフェロンが奏効しなかった患者をはじめ、高齢・持病などを理由にインターフェロン治療を受けられなかった患者にも非常に高い効果を示し、ほとんどの患者に治癒が期待できる時代となりました。DAAは非常に高額で、12週の治療で約300～400万円程度の薬剤費ですが、慢性肝炎の助成制度を使うことができますので、患者の自己負担は月額1万円程度と抑えられ、費用の心配をすることなく治療を受けることができます。

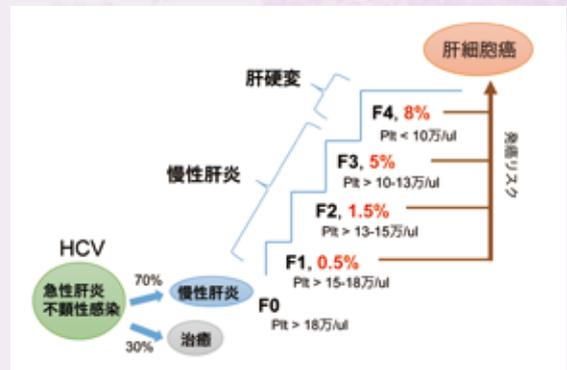


図1 C型肝炎の経過と肝発癌、肝線維化の程度（F分類）と発癌率（年）



図2 C型肝炎の治療の変遷

ジェノタイプ 1型	投与期間
ダクラタスビル/アснаプレビル	24週
ソホスビル/レディバスビル	12週
オムビタスビル/パリタプレビル	12週
エルバスビル/グラソプレビル	12週
ダクラタスビル/アснаプレビル/ベクラプリル	12週
ジェノタイプ 2型	投与期間
ソホスビル/リビリン	12週
オムビタスビル/パリタプレビル/リビリン	16週
ソホスビル/レディバスビル	12週
パンジェノティピック（すべての型に効く）	投与期間
ビプレントスビル/グレカプレビル	8-12週

表1 日本で承認された治療、今後承認される治療

一方で、100%に近い効果を示す治療を受けて治らなかった場合、患者の落胆は非常に大きく、また、医療経済上の損失も著しいため、可能な限り奏効率を高める努力が重要です。DAA治療は2014年に導入されて以来、1型、2型のウイルスに対して現在7種類の内服薬が使用できる状況にあり、（表1）、それぞれの特性を理解して使い分ける必要があります。ウイルスの詳細な遺伝子型・薬剤耐性変異の有無・ホスト側の遺伝子多型（IL28B SNP）などが治療効果に大きく影響することが分かっています。保険未収載ですが、当科ではこれらの検査を行い、精度の高い治療を提供しています。

ご相談・ご紹介は下記までご連絡をお願いいたします。

東北医科薬科大学病院 消化器内科 小暮高之 電話 022-259-1221（代表）

肝がん診療の新たなパラダイム

近年のウイルス肝炎の治療の進歩には目を見張るものがありますが、本邦で肝がんと診断される患者数は毎年3万人を超え、状況は依然として深刻です。また、患者の高齢化、遠隔転移などの高度進行肝がんの増加、経口分子標的薬ソラフェニブの登場などにより、肝がん治療は新たなパラダイムが必要となりつつあります。単純にガイドラインに従うだけでなく、個々の患者の状況を十分考慮した治療方針の選択が重要です。

近年の著しい患者高齢化に伴い、より低侵襲の治療が求められています。当科では、根治性が非常に高く、肝切除よりも格段に侵襲の少ないラジオ波焼灼療法を積極的に行っています。ラジオ波焼灼療法は、細い針の電極を腫瘍に穿刺して通電することにより、腫瘍を一周り大きく取り囲んで焼灼し、壊死に陥らせる治療です。2-3cm程度の肝癌であれば、5-10分程度で焼灼できます。当科ではクリニカルパスを使用して最短で3泊4日の入院で治療が完了します（図1）。

また、高齢者の治療として、当科では放射線科と連携し、様々な理由で肝切除やラジオ波などの根治性の高い治療が困難な場合に、より低侵襲な放射線照射を活用し根治性を高める工夫を積極的に行っています（図2）。

高度進行肝がんに対しては、持続動注化学療法、放射線照射、ソラフェニブ（図3）などを個々の状況に応じて集学的に行っています。

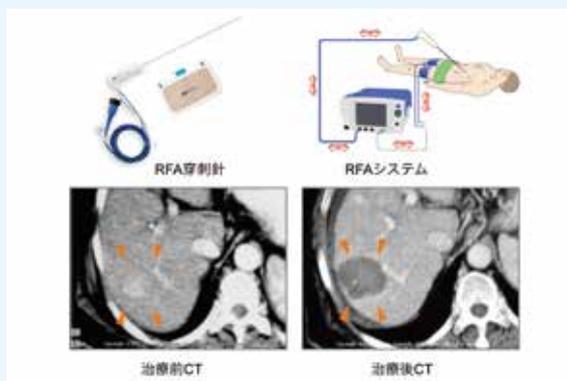


図1 ラジオ波焼灼療法（RFA）による肝がんの治療

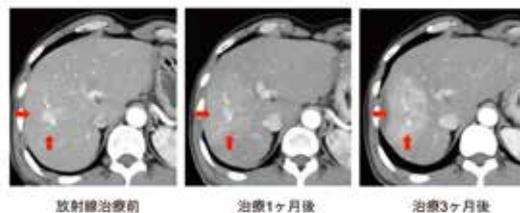


図2 肝がんに対する放射線療法。太い門脈に挟まれた2cmの腫瘍に40Gyの照射を施行

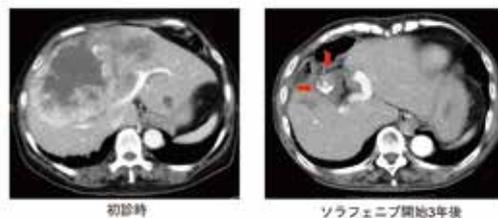


図3 高度進行肝癌のソラフェニブ著効例

ご相談・ご紹介は下記までご連絡をお願いいたします。

東北医科薬科大学病院 消化器内科 小暮高之 電話 022-259-1221（代表）

～連携センターからのお知らせ～

～多発性硬化症外来（完全予約制）を始めます～

平成29年9月1日から「多発性硬化症外来」を開設いたします。
対象の方は、「多発性硬化症」または「視神経脊髄炎」の診断を受け、治療方針が定まっていない新患の方（ただし紹介状必要）を対象に診察いたします。
外来は完全予約制となっております。お問い合わせは連携センターまでご連絡下さい。

診 察 日	完全予約制：毎月第2・4月曜日（祝日、年末年始を除く）
診 察 時 間	14:00、15:00 ※1日2症例診察までとなります。
診 察 場 所	1階 神経内科外来
担 当 医 師	中島一郎（神経内科 医師）
外 来 内 容	「多発性硬化症」、「視神経脊髄炎」の新患の方の診療を行います。
お 問 い 合 わ せ	連携センター 平日：9:00～16:00（祝日、年末年始を除く） 連携センター直通 TEL：022-388-9593 FAX：0120-25-9121

東北医科薬科大学病院 新規登録医のご紹介

平成29年9月1日付にて343カ所の医療機関に登録医としてご登録いただいております。
平成29年4月～8月までに新たに登録医としてご登録いただきました先生方をご紹介します。
これからも、より良い連携が図れるよう取り組んでまいりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

大崎市	佐藤医院	佐藤 和朗 先生
若林区	おきのメディカルクリニック	石本 修 先生
若林区	角田胃腸科内科クリニック	角田 英樹 先生
若林区	角田胃腸科内科クリニック	松田 泰徳 先生
亘理町	やべ内科クリニックわたり	矢部 珠美 先生
青葉区	佐藤玄德内科クリニック	佐藤 玄德 先生
青葉区	北田内科小児科医院	北田 一浩 先生
塩釜市	赤石病院	熊谷 純 先生
太白区	中田公園前クリニック	佐藤美栄子 先生

～新大学病院棟ができるまで 第2回～

■建設スケジュール■



2016.3.16 新福室キャンパスの空撮です。



2016.5.18 建物を支えるための杭打ち工事を行っています。



2016.6.20 第2教育研究棟の基礎工事に着手しました。



2016.7.29 第2教育研究棟低層部の鉄骨工事に着手しました。